

市長所信表明演述

6月11日、第23回久慈市議会定例会議において、中平均市長が所信表明演述を行いました。演述の内容を要約してお知らせします。



久慈市長として市民の負託にこたえ久慈市の発展のために全力を尽くしてまいります。久慈市の財政状況は非常に厳しい危機的状況と捉えております。従前の運営を続けられ、令和12年度には収支赤字の発生が見込まれ、次年度の収入で赤字補填する「繰上充用」を行えば赤字額は雪だるま式に増大し、数年で財政破

綻が想定されます。このような事態を回避するため、大幅な歳出削減と歳入確保に向けた取り組みを進める必要がありますと考えており、事務事業を精査して歳出水準・人件費の適正化、公共施設の見直しと再編、市有財産の有効活用やふるさと納税の強化による歳入確保など財政健全化の取り組みを強化していきます。

整備、排水設備等の適切な維持管理に努めます。

上下水道施設の災害時における機能維持を図ります。

第3の柱

産業・雇用

地域の力を生かし、未来を拓く産業と仕事づくりを通じて、誰もが安心して働ける市を作り上げます。

農業は、従事者の高齢化等による農家戸数の減少が喫緊の課題です。新規就農者の支援や担い手確保を積極的に進め、安定した農業経営を行うことができる環境づくりを推進します。また、「山形村短角牛」のブランド力向上のため、安定した生産出荷体制の整備など、関係機関と一体となって支援し、短角牛の振興を図ります。

林業は、豊富な森林資源を守り育て、その多面的機能を發揮させるため適切な森林整備を推進します。拡大が懸念されるナラ枯れに対し、被害木の計画的な伐採・処理等を強化します。地元材の利用拡

久慈市財政が危機的状況にあっても、様々な努力を重ね、安心と喜びあふれる暮らしに向け、強い覚悟を持って取り組んでまいります。

久慈市を誰もが幸せを実感し、心躍るまちにするため、選挙公約とした四つの柱に沿った市政運営の方針と主要な施策を申し述べますが、新たな施策は、財政健全化と財源確保が前提となることをご理解願います。

第1の柱

子ども支援

子どもたちの可能性と未来を広げる教育の実現と、安心して子育てをできる市を目指します。

給付型奨学金の導入や中学校生徒の学校給食費の無償化の検討を進め、子育て世代が安心して働ける環境整備、情報機器を活用した教育環境整備等に取り組めます。

学校教育において、社会人となっていくために必要な総合的な力「生きる力」の育成に取り組めます。

訴えていきます。

起業家や事業者への支援としては、必要な知識を習得するセミナーや個別相談の開催、融資制度のあっせんなどサポート体制を構築します。また、環境の変化をとらえた新たな事業活動の誘致を推進するとともに、市内に立地している企業へのフォローアップ支援を行います。

若者の地元定着、移住・定住策としては、地域ぐるみのキャリア教育事業や研究機関との連携を通じて雇用の確保と従業員所得及びワークライフバランスの向上につながる事業者支援に努めます。

UJイターンの促進に向けた新たな『U40KUJイターン支援事業補助金』を創設し若者の移住を促します。

観光誘客については、久慈秋まつりや琥珀・恐竜化石等の資源を磨き上げ、誘客展開を強化します。また、豊かな自然や三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイル等の地域資源を生かした教育旅行・体験型観光の充実を図り、交流人口・関係人口の拡大に努めます。

また、学校と家庭・地域・行

政が連携した支援体制は子どもたちの健やかな成長に必要であり、地域への愛着の醸成、地域を担う人材育成にもつながることから、多様な体験活動や地域に根ざした学習を提供できる環境整備に努めます。

このほか、キャリア教育の充実、インクルーシブ教育の推進、地元への理解を深める地域教育、郷土芸能や伝統行事など地域文化の継承・発信、スポーツ環境の維持等に取り組めます。

第2の柱

医療・防災・福祉

医療と防災を強化し、いつまでも安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。

医療体制の確保は、医師確保等に向け関係機関への働きかけを続けるとともに、救急医療体制の充実、医療・リハビリ・介護・相談体制の連携強化、予防医療の充実等に取り組めます。また、在宅介護体制の充実や介護予防につながる体操・講座の支援等に取り

り組めます。

妊娠・出産・産後・療育等の子どもの成長に寄り添う伴走型相談支援の充実を図るなど、すべての家庭が安心して出産・子育てをできる環境づくりに努めます。

クマ等の被害防止対策については、関係機関と連携した被害防止と、緊急時における「緊急銃猟」等により適切に対処していきます。

各種災害への対策は、ハザードマップの更新や津波避難訓練の実施とともに、避難所・避難場所の見直しや自動車避難の渋滞解消など、市民の生命を守ることを第一に考え取り組めます。

地域防災活動の中核的な役割を担う消防団員の確保、自主防災組織の結成等を支援し、訓練・講習会を通じた活動環境の整備を進めます。

洪水対策は、堤防整備や河道掘削等を引き続き県に要望するとともに、小屋畑川の河川改修事業の着実な進捗に向けて県と連携・協力していきます。

浸水対策は、雨水排水路の

経済の好循環を生み出し、物価高騰対策に繋がっていきます。効率的な行政運営に向けたデジタル化の推進と活用による情報発信に努めます。幅広い世代の意見を市政に反映するため、市政情報の発信と広聴機会の創出により、共に作り上げる「チーム久慈」の市政運営につなげていきます。

財政再建と久慈市の未来への投資という相反する課題に立ち向かうために、私自身が積極的なトップセールスを行い、ふるさと納税をはじめとする既存の施策による収入増加はもとより、新しい施策を展開するためにも、国・県・民間との連携を密接にして各種事業に取り組んでまいります。子どもから高齢者まで、誰もが心躍り、未来への期待あふれるまちを作り上げるため、これまで同様に徹底現場主義を貫き、市民の皆様との対話や議論を重ねながら、市民一丸となった「チーム久慈」を築き上げ、先頭に立って各種課題の解決に取り組んでまいります。

第4の柱

行政運営・財政

行財政改革を積極的に進めるとともに、市民に寄り添った行政運営を行うため、短期中期長期の事業目標を設定し、進捗を市民と共有しながら、久慈を共に作り上げる環境を築いていきます。

国・県と連動し、様々な施策を有機的に連携させることで